

# 最適運用管理システムを活用した低コスト再エネ水素サプライチェーン構築・実証 (福島県浪江町、実施代表者：大林組)

## 実証概要とサプライチェーン図

<p><b>概要</b></p>	<p>太陽光発電を利用した水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド」より出荷されたグリーン水素を、福島県浪江町内に設置した燃料電池やFCVなどの水素を利活用できる設備の燃料として利用する。また、これら水素サプライチェーンを最適化する仕組みとして、水素需給量・搬送状況を考慮した最適搬送管理システムを町の水素利用プラットフォームとして構築し、水素サプライチェーンの全体管理・最適化を目指すものである。構築したシステムは、町全体が停電した場合にも運転できる仕様としておき、BCPに配慮した町のインフラとしても利用する。</p>		
<p><b>事業場所</b></p>	<p>福島県浪江町</p>	<p><b>事業期間</b></p>	<p>令和2年度～令和4年度（予定）</p>

